

防災訓練実施にあたっての 新型コロナウイルス感染症対策の注意点

● 訓練を計画する際の注意点（「新しい生活様式」の実践を考えましょう）

- 事前打ち合わせ等の実施は、「3密」を避け、必要最低限の人数、短時間で
- 準備段階でも感染状況により中止の判断を適切に
- 少人数、屋外、3密を避けた訓練内容の検討
- マスクの持参・着用
（熱中症などのリスクを考慮する。屋外で十分な距離を確保できる場合は外す）
- 体温測定や健康チェック → 発熱や風邪の症状がある場合は参加を控える
- こまめな手洗いや手指の消毒 など

● 訓練を行う際の注意点（特に「3密」（密集・密接・密閉）の回避に留意しましょう）

【訓練開始前の確認事項】

- 名簿を作成し、参加者全員の感染症対策や体調を確認する
- 新型コロナウイルス感染症対策の留意点を確認・共有する

【訓練実施時の確認事項】

- 手の届く範囲以上の距離を確保する
- こまめな手洗いや手指の消毒の徹底
- 訓練を複数回に分けて実施するなど、参加人数を限定する方法も有効
- 換気の徹底
 - ※ 屋内で実施の場合、換気扇を回したり、2方向の窓を同時に開ける
 - ※ 少なくとも1時間のうち10分間は窓を開けて換気を行う
- 会話や発声の際はマスクを着用し、飛沫を発生させない
- 大声を出すことは控え、拡声器を活用
- 炊き出し訓練では、消毒の徹底、会食は避け、持ち帰ることを検討（食中毒に注意）
- 使用する資機材はこまめに消毒する
- 訓練終了後は、順番を決めて解散するなど、最後まで3密の回避を徹底する

～少人数でもできる防災活動～

少人数でも実践できる防災活動はあります。地域内での情報共有や家庭で行う防災活動を行いましょう。

〈地域〉

- ・防災倉庫に入っている備品を点検する
- ・これまでの訓練を振り返り、地域における課題を確認する
- ・避難行動に支援を要する方への対応を考える

〈家庭〉

- ・ハザードマップで自分の住んでいる地域を確認し、災害リスクを把握する
- ・各家庭で非常持ち出し品を確認し、準備する
- ・避難場所（避難所や親戚・知人宅）や避難経路を確認する
- ・マイタイムラインを作成して、自分自身の避難行動計画を確認・実践する